

アンケート方式による長崎市民の交通環境意識調査

長崎大学工学部 正 員 後藤恵之輔
同 上 学生員 〇橋 浩

1. はじめに

一般に、＜長崎＞という街は、坂の街として全国に知られるように、平野部がわずかで、住宅は周囲の山肌にへばりつくように建っている。長崎市内の道路環境は道幅が狭く、歩道の余裕もなく、ドライバー、歩行者ともに危険な場所が多く存在する。このような対策として安全、快適な道路にするための改善策等のハード面はもちろん、ソフト面からも景観を含めて色々な舗装などの交通環境作りに工夫がなされている。しかし、これらのことと利用する側の意見は噛み合っているだろうか。ここでは、アンケート調査の結果により歩行者の立場からみた「みち」について考察を行なう。

2. 調査方法

今回のアンケート調査は、長崎市内の6つの地区の大型公民館の利用者と、その家族を対象に（1100名）行った。現在、回収中でここでは2つの公民館（432名、回答者284名、回収率65.8%）のデータをもとにする。

3. 調査目的

①現在、歩いている歩道についての問題と、②歩行者の好む歩道と要望について質問し、現状把握とどのようにしたら不満のない歩道になるか、また、すぐにでもできるような改良点はないかを検討することを目的とする。

4. アンケートの結果と考察

(1) 歩道を歩く時の不便な点

図-1に示すとおり、歩道を歩く時の不便な点としては、この1, 3, 5の答えでも分かるように歩道の狭くなる要因についての意見が多い。電柱が邪魔であるという意見も多いが、もともと道路の端に立っていたものの左側に、歩道を後から作って今は電柱が邪魔になっているところもあるので、一概には言えないこともある。また、8.のその他の答えでは、路上駐車が原因であるという意見が多数見られた。長崎ではこれ以上、道路を広げることは無理な場所が多いので、道路にはみだした自動販売機の追放のように、狭くするような障害物を減ずることを徹底するのがよいと思う。

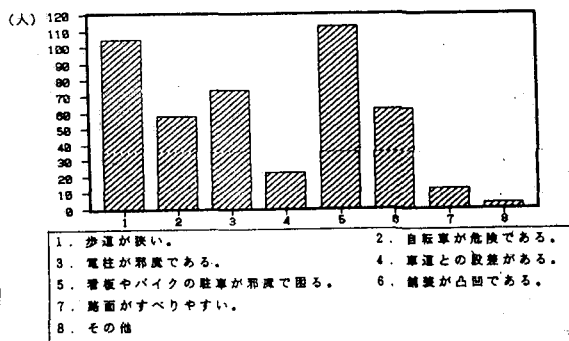


図-1 歩道を歩く時の不便な点

(2) 道路の危険な場所で設置してほしいもの

図-2に示す、1. 歩道という答えは、長崎の地形条件により場所によっては車道の拡張で精一杯のところがあるが、通学路付近は、優先して作ってほしいという意見が多い。また、5. 溝のふたについては、ふたをすることにより歩道としても歩けるし、車を運転する側にも溝への脱輪に注意を払うことなく、運転しやすくなるだろう。しかし、溝のふたをすることで掃除等の問題があるため、よく検討しなければならない。

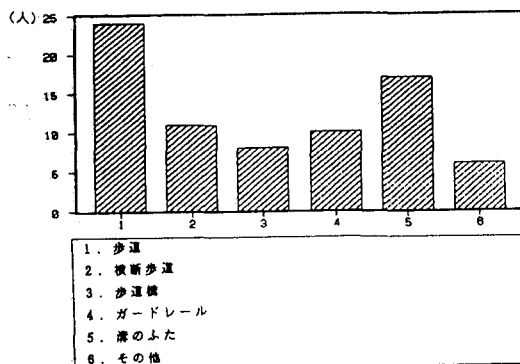


図-2 道路の危険な場所で設置してほしいもの

(3) 好きな舗装のタイプ

最近、あちこちで景観をよくするために舗装に工夫を凝らし、いままでのアスファルト、コンクリート舗装の他に、カラー舗装、タイル舗装、石畳風など

タイプが多様化している。好きな舗装のタイプとしては、図-3に示すとおり、1、2の平坦な一体路面舗装（普通の舗装とカラー舗装）で60%を占めている。これは、3. タイル舗装や4. 石畳風のものは「女性がハイヒールでは歩きにくい」、「ベビーカーを使用する時、ゴトゴトして危ない」など新聞の投書でも見られるようなことを結構、多くの人が思っているようだ。タイル舗装は材質によって、雨天時には滑りやすいものがあり、あまり好まれていない。

(4) 好きな歩道の色

この問いは、(3)の問いに関連して、図-4の示すとおり、1、2の黒色、灰色が多い。カラー舗装する場合、道路の色についてはまわりの建物や環境に充分考慮しなくてはならない。また、このカラー舗装については、汚れが目立つという意見があり、観光の街では特に気を使う必要があるだろう。

(5) 気に入っている場所の条件

図-5に示すように、散歩などしていて気に入った場所とその理由を質問した。また、ここでは具体的な場所を書いてもらったが、ある程度、同じ場所に集中した。やはり、歩道は車の心配がなく、安心して歩けることが第一のようだ。その他、街灯の設置、花壇、歩道に思考を凝らした景観を考えたものなどへの関心度も高いことがうかがえる。一方で、花壇の手入れをこまめにやって欲しいなどの意見もある。

5. おわりに

今回のアンケート調査でわかったことは、私たちの歩道をより安全に歩けるようにするには、歩道を広げることよりも、歩道にある障害物をまず減らすということではなかろうか。電柱などの構造物は個人の力では無理だが、店の商品を道路にはみ出さないことや、自転車・バイクを止める時は、なるべく端に止めるなどということは、個人レベルでできることである。それと、歩道は公道でもあるので、歩くのに障害になるようなものは規制されるべきであろう。今後は、残り4つの公民館の回収をして、今のデータと合わせて全体の集計を行ない、まとめる予定である。また、ここでは紙面の都合上、載せることができなかったが、渋滞関係の問題も取り上げているため、今後、同時に集計を進めることとしている。末筆ながら、アンケートの配付に御協力いただいた長崎市大型公民館の関係者の方々に記して深謝の意を表わす次第である。

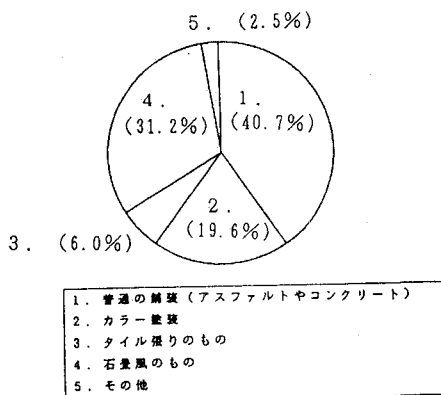


図-3 好きな歩道のタイプ

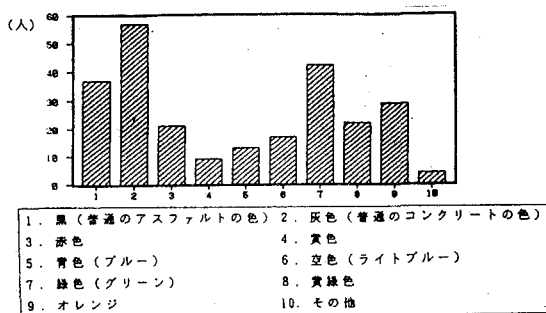


図-4 好きな歩道の色

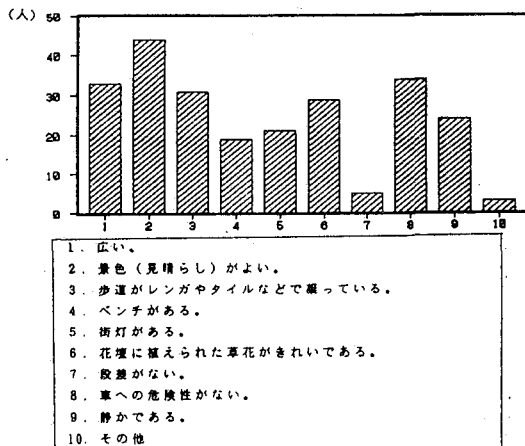


図-5 気に入っている場所の条件